



募集要項
2023年

秋募集
11・01・水→12・11・月

(20歳～69歳)

いつか世界を変える力になる

JICA 海外協力隊



CONTENTS

1. JICA海外協力隊	P2	9. 職種の選び方	P19
2. JICA海外協力隊に参加するための心構え	P2	10. JICA海外協力隊応募者用マイページについて	P21
3. 応募について	P3	11. JICA海外協力隊（短期派遣）について	P22
4. 選考について	P11	12. JICA海外協力隊グローカルプログラム（派遣前型） 参加者募集について	P22
5. 新型コロナウイルス感染症への対応について	P12	13. 現職参加について	P22
6. 合格から派遣まで	P13	14. 要請の見方について	P23
7. 留意事項	P15	15. JICA グローバル・アジェンダへの取り組み	P24
8. 職種一覧	P17		

「一般案件」、「シニア案件」共通の募集要項です。一部、「一般案件」にのみ該当する内容、
「シニア案件」にのみ該当する内容がありますのでご注意ください。



1

JICA海外協力隊

JICA 海外協力隊は、開発途上国や、中南米地域の日系人社会からの要請に基づき青年海外協力隊等として派遣され、現地の人々と共にその国や地域の課題解決に取り組みます。長期の派遣期間は原則2年間です。帰国後は、日本や世界で協力隊経験を生かした活躍が期待されています。

JICA は、以下3つの目的のもと、これまで世界99か国に5万人以上の隊員を幅広い分野に派遣してきました。

■ 開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与

よりよい明日を世界の人々と共有するため、日本が持つ技術や経験を踏まえ、開発途上国の人々に役立ててもらいます。

■ 異文化社会における相互理解の深化と共生

JICA 海外協力隊が現地の人々を理解していくように、現地の方にも、JICA 海外協力隊を通じて日本が理解され、共生・協働が行われるようになります。深化する相互理解と共生の営みにより持続可能な開発の実現を目指していきます。

■ ボランティア経験の社会還元

隊員には、本事業への参加を通じて身に付けた知識や経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。

JICA は、隊員が経験を社会還元する取り組みを支援していきます。

2

JICA海外協力隊に参加するための心構え

JICA 海外協力隊に参加した多くの人は高い充実感を味わって帰国します。しかしその充実感は現地で漫然と生活しているだけでは決して得ることはできません。次に掲げる2つの重要な心構えを自分自身の中で理解し、JICA 海外協力隊としての自覚を持ち、健康管理を怠らず、自律的に行動できる人が求められています。

現地の人々とともに

日本とは全く条件の違う開発途上国の現場では日本の技術や経験をそのまま生かすことは不可能です。JICA 海外協力隊はまず、現地の人々の生活や考え方、行動様式をしっかりと学ぶ必要があります。そのためには現地の人々と同じ言葉を話し、同じものを食べ、行動をともにし、現地の人たちと一緒に汗を流すことも必要です。その際、お互いの考え方のぶつかり合いもあります。これらの過程を乗り越えてこそ真の信頼関係が生まれます。本当の意味で価値ある活動はこのときから始まります。

チャレンジ精神

現地での2年間の活動は決して平坦な道のりではありません。日本のように仕事の環境が整っているわけでもありませんし、また予想すらできない問題が次々に目の前に現れます。日本の常識は一切通用しないと考えておいた方がよいでしょう。これこそまさに開発途上国の現状であり、この問題を避けて通ることはできません。自ら発想し、行動を起こす力、さらに困難に立ち向かう勇気と忍耐力が必要です。JICA 海外協力隊を志望する皆さんには強いチャレンジ精神が求められています。



3

応募について

1 応募から派遣までの流れ

プレエントリー

募集期間に先立ちプレエントリーができます。
プレエントリー後に JICA 海外協力隊応募者用マイページ※の ID を発行します。
※詳細は P21をご参照ください。

応募

【ウェブ入力】
2023年11月1日(水)～2023年12月11日(月)
日本時間正午締切
【郵送(問診票・健康診断書)】2023年12月11日(月)必着

選考

2023年12月上旬～2024年4月下旬
(面接: 2024年2月中旬～2024年3月中旬)
※詳細は P11をご参照ください。

最終合否通知

2024年4月25日(木)(予定)
※合否はマイページでお知らせします。
※すべての選考結果を総合的に判断して決定します。

グローカルプログラム (任意参加)

※詳細は P22をご参照ください。

2024年度3次隊
2024年9月～12月

2025年度1次隊
2025年1月～3月

※プログラムの時期は変更になることがあります。

- 訓練所入所／派遣のための事前提出書類の準備と提出
- 派遣前訓練の講座及び語学(一部対象者)の事前学習
- 資格取得(対象者のみ)
- 派遣前健康診断等

派遣前訓練(予定)

※詳細は P14をご参照ください。

2024年度2次隊
2024年8月～

2024年度3次隊
2025年1月～

2025年度1次隊
2025年4月～

※訓練の時期は変更になることがあります。

派遣(予定)

派遣は、訓練修了時点から1ヶ月～3ヶ月後となる予定です。
※但し、派遣手続きの都合上、出発が上記期間以降になる場合があります。

2 応募区分

JICA 海外協力隊（長期派遣）には、「一般案件」と「シニア案件」の2つの応募区分があります。応募区分によって JICA 海外協力隊の種類（呼称）が異なります。

■一般案件（広く職種で応募する区分）

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために生かしたい」という強い意欲を持つ方が、職種を選んで応募します。合格された案件により、派遣呼称が決まります。

募集期：春募集・秋募集の年2回 派遣期間：1～2年 対象年齢：20歳～69歳 ※一部の要請は45歳以下の方が対象です。

応募時年齢	種類（呼称）	概要
20～45歳の方	青年海外協力隊	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東・欧州地域の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、現地の人々と同じ言葉を話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力しています。
46～69歳の方		
20～45歳の方	日系社会青年海外協力隊	中南米の日系社会で、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、日系人、日系社会の人々と、ともに生活・協働しながら中南米地域の発展のために協力しています。
46～69歳の方		

■シニア案件（一定以上の経験・技能等が必要な個別案件へ応募する区分）

「自分の持っている専門的な技術・知識や経験を開発途上国の人々のために生かしたい」という強い意欲を持った方が、より専門性の高い案件を選んで応募します。合格された案件により、派遣呼称が決まります。

募集期：春募集・秋募集の年2回 派遣期間：1～2年 対象年齢：20歳～69歳

応募時年齢	種類（呼称）	概要
20～69歳の方	シニア海外協力隊	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東・欧州地域の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、現地の人々と同じ言葉を話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力しています。
	日系社会シニア海外協力隊	中南米の日系社会で、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、日系人、日系社会の人々と、ともに生活・協働しながら中南米地域の発展のために協力しています。

3 応募資格 生年月日が1953年12月13日～2004年8月2日までの日本国籍を持つ方

右記の方は
応募できま
せん

- 派遣中（長期）の JICA 海外協力隊（詳細は15ページ「派遣中 JICA 海外協力隊の方の応募について」を参照）
- 既に JICA 海外協力隊に合格し、訓練／派遣が予定されている者
- 禁固刑以上の刑に処せられ、その執行を終えるまで、または執行を受けることがなくなるまでの者
- 暴力団員その他の反社会的勢力に属する者

4 応募期間

**【ウェブ入力】
2023年11月1日(水)～2023年12月11日(月)日本時間正午締切**

応募締切日

※必要項目を全て記入しないと、入力の完了とはなりません。ウェブ上で入力が完了し、問診票・健康診断書を期限内に郵送で提出しないと応募完了とはなりませんので、ご注意ください。
※応募締切直前は、JICA海外協力隊応募者用マイページへのアクセスが集中し、内容の登録やアクセス自体に時間がかかることが予想されます。理由の如何に関わらず、締切後の応募は受け付けられませんので、早めに応募を完了してください。

【郵送(問診票・健康診断書)】2023年12月11日(月)必着

5 応募方法

応募方法

JICA海外協力隊応募者用マイページからご応募ください。

※詳細はP21をご参照ください。

6 応募時の留意事項

応募者調書、語学力申告は JICA 海外協力隊応募者用マイページで作成してください。問診票と健康診断書は郵送です。フォーマット等は、マイページからダウンロードしてください。

応募時の 留意事項	①	応募者調書 (応募者基本情報、 応募職種・要請・ 志望動機)	学歴、資格を証明するものを合格後にご提出いただく可能性があります。学歴、所持されている資格については正確に記入してください。合格後、記載内容に虚偽があった場合は、合格、派遣を取り消すことがあります。選考はご提出いただいた書類にもとづいて行います。ご自身の経験を具体的に記入してください。
	②	語学力申告	語学力目安表を参照し、公式語学証明書をアップロードしてください。 ※各要請には基準となるレベルが設定されています。応募前に、要請情報で希望する要請の選考指定言語欄をご確認ください。
	③	適性テスト	ウェブ応募完了後、適性テストを開始できるようになります。必ず受検してください。
応募時に 郵送して 提出する 書類	①	問診票・ 健康診断書	プレエントリー後に応募画面からダウンロードできる健康診断書様式を最寄りの医療機関にお持ちの上で健康診断を全項目受診し、問診票とあわせて健康診断書を指定の宛先まで郵送してください。締切は「必着」で、消印有効ではないので、早めに受診してください。受診費用には一定額の補助があります。 提出締切日:2023年12月11日(月)必着 ※職場等で受診された健康診断結果の転記については、2023年8月4日(金)以降に受診したものが有効。JICA指定の健康診断書様式への転記を必ず医師・医療機関に依頼してください。ご自身での転記は無効です。またJICAが指定するすべての診断項目が必要となるので、不足する場合は追加受診が必要です。

7 応募までのステップ

応募を検討するにあたって、不安や知りたいことなどがあると思います。

- 語学力はどのレベルが必要なの?
- 自分にあった職種はどうやって探したらいいの?
- 実際に応募する際、どんな準備が必要なの?

JICA 海外協力隊ウェブサイトではあなたの不安を解消する様々な情報を掲載しています。

JICA海外協力隊ウェブサイト

トップページ▶

<https://www.jica.go.jp/volunteer/>



STEP 1 基本的な情報を知る

JICA 海外協力隊ウェブサイトで募集情報を参照してください。

STEP 2 応募する区分を検討する

一般案件、シニア案件のどちらで応募するのか検討してください。

STEP 3 自分に合った職種を探す

ご自身の希望、応募資格等を踏まえて職種をお選びください。

STEP 4 応募する

「JICA 海外協力隊応募者用マイページ」へ進んで応募手続きをしてください。

8 希望職種と希望要請について

一般案件、シニア案件とともに、応募できる職種数や要請数が決まっています。また、受入国側のやむを得ない事情により、要請内容（活動内容、配属先、派遣時期など）を変更、取り下げることがあります。なお、一般案件とシニア案件の併願はできません。

一般案件の場合 希望する職種を、最大3つまで併願することが可能です。

一次選考の合否通知時に、二次選考の技術面接における受験職種（1職種のみ）を通知します。ご自身の希望により二次選考の職種を選ぶことはできませんので、ご了承ください。

(例1) 職種併願を希望するケース その1



※希望要請は、コミュニケーション開発1件、PCインストラクター1件、マーケティング1件を選択。

(例2) 職種併願を希望するケース その2



※希望要請は、青少年活動、環境教育からそれぞれ1件以上、最大3つまでを選択。

(例3) 一つの職種のみを希望するケース



※希望要請は、看護師の要請の中から、最大3つまで選択。

シニア案件の場合 希望要請を2つまで選択できます。その内で合否が決定されます。

(例1) 同じ職種で2要請を選ぶケース



(例2) 異なる職種で2要請を選ぶケース



9 語学力申告について

JICA 海外協力隊の応募に際し、必要となる語学力は、活動上必要となる語学力であり、希望される要請によって異なります。

つきましては、応募をお考えの方は、希望する要請に記載されている選考指定言語をご確認ください。

①応募に際し、最低限必要となる語学力は、英語の場合、中学卒業程度（英検3級もしくは TOEIC®スコア330点）に設定しています。この目安は合格後の派遣前訓練において語学力を習得する素地

があるかどうかを確認することを目的として設定しています。

②英語の他にも語学力目安表に記載のあるフランス語、スペイン語の語学資格は A～D レベルとして認定されます。ドイツ語、イタリア語、ロシア語、中国語、韓国語、タイ語、インドネシア語（以上、一般案件のみ）、ポルトガル語（一般案件およびシニア案件（日系社会シニア海外協力隊））の語学資格も語学 D レベル相当として認定可能です。

① 応募に必要な書類

以下にある「語学力目安表」を参照し、申告に必要となる語学スコアを取得し、応募時にご提出ください。スコアの取得時期には制限を設けておりませんが、「語学力目安表」に記載された資格であるかを必ずご確認のうえ、提出してください。

② 語学資格・スコアをお持ちでない方へ

英語については、自宅受験型の資格 (GTEC、CASEC) があります。自宅のPC等でいつでも受験でき、終了後すぐに結果を確認することができます。受験方法等は、ご自身でご確認ください。なお GTEC 名称変更に伴い、今後 GTEC を受験される方は、「GTEC Business」若しくは「GTEC Academic」を受験してください（自宅受験含む）。レベルについては、語学力目安表に記載されているスコアを適用します。なお、2018年3月1日の名称変更以前に GTEC を受験された方についても、お持ちのスコアを提出することが可能です。

●語学力目安表（一般案件・シニア案件用）

◆ 現在実施されていない資格試験

コミュニケーションレベル	英 語
A 十分なコミュニケーションが可能	<ul style="list-style-type: none">・英検 準1級以上・TOEFL 550点 (CBT 213点、iBT 79点) 以上・TOEIC 730点 (S&W 290点) 以上・GTEC (4技能600点又は2技能305点) 以上・CASEC (自宅受験型) 700点以上・IELTS 6.0以上・JICA 専門家定期テスト 200点以上・国連英検 B級以上・技術英検の準プロフェッショナル以上 (旧工業英検 2級以上)・日商ビジネス英検 1級・ケンブリッジ英検 (FCE、CAE/CPE)・通訳案内業 (案内士)◆ビジネス英検 (BEST) グレード B 以上◆JICA 英語検定 2級以上◆協力隊シニア語学資格 A級
B どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている	<ul style="list-style-type: none">・TOEFL 500点 (CBT 173点、iBT 61点) 以上・TOEIC 640点 (S&W 260点) 以上・GTEC (4技能540点又は2技能275点) 以上・CASEC (自宅受験型) 650点以上・IELTS 5.0以上・技術英検 1級 (旧工業英検 準2級)・JICA 専門家定期テスト 180点以上
C 限られた範囲での業務上のコミュニケーションが可能	<ul style="list-style-type: none">・英検 2級・TOEFL 470点 (CBT 150点、iBT 52点) 以上・TOEIC 500点 (S&W 220点、Bridge 154点 (2019年5月以前)、Bridge 85点 (2019年6月以降)) 以上・GTEC (4技能450点又は2技能225点) 以上・CASEC (自宅受験型) 570点以上・IELTS 4.0以上・JICA 専門家定期テスト 150点以上・国連英検 C級・日商ビジネス英検 2級・商業英検 1級・ケンブリッジ英検 PET◆ビジネス英検 (BEST) グレード C
D 日常会話程度	<ul style="list-style-type: none">・英検 準2級、3級・TOEFL 410点 (CBT 103点、iBT 34点) 以上・TOEIC 330点 (Bridge 130点 (2019年5月以前)、Bridge 65点 (2019年6月以降)) 以上・GTEC (4技能340点又は2技能165点) 以上・CASEC (自宅受験型) 450点以上・技術英検 2級 (旧工業英検 3級)・技術英検 3級 (旧工業英検 4級)・日商ビジネス英検 3級・商業英検 2級、3級

※ GTEC は「GTEC Business」および「GTEC Academic」が対象です（自宅受験含む）。

※ TOEIC®IP テストスコアも TOEIC® のスコアとして認められます。

※ TOEFL® 公式スコア票がない場合、EXAMINEE SCORE REPORT、Test Taker Score Report (受験者用スコア票) を TOEFL® のスコアとして認めます。

※ TOEIC、CASEC、GTEC 等、インターネット上に掲載されるスコアを提出する場合、スコアレポートやデジタル公式証明書の PDF をダウンロードして提出してください。

※ 商業英検（全国商業高等学校協会主催）、日商ビジネス英検（商工会議所主催）、技術英検（日本工業英語協会主催）

コミュニケーションレベル		仏語
A	十分な コミュニケーションが 可能	<ul style="list-style-type: none"> ・仮検 準1級以上 ・DELF B2以上 ・仮語能力認定試験 (TEF) 541点以上 ・仮国民教育省認定仮語能力テスト (TCF) 400点以上 <ul style="list-style-type: none"> ・仮国民教育省認定仮語能力テスト インターネット (TCF SO) 400点以上 ・JICA 専門家定期テスト 200点以上 ・通訳案内業 (案内士) ◆ JICA 仮語検定 2級以上 ◆協力隊シニア語学資格 A級
B	どんな状況でも適切な コミュニケーションが できる素地を備えている	<ul style="list-style-type: none"> ・仮検 2級 ・DELF B1 ・仮語能力認定試験 (TEF) 361点以上 ・仮国民教育省認定仮語能力テスト (TCF) 300点以上 <ul style="list-style-type: none"> ・仮国民教育省認定仮語能力テスト インターネット (TCF SO) 300点以上 ・JICA 専門家定期テスト 180点以上
C	限られた範囲での 業務上の コミュニケーションが 可能	<ul style="list-style-type: none"> ・仮検 準2級 ・DELF A2 ・仮語能力認定試験 (TEF) 204点以上 ・仮国民教育省認定仮語能力テスト (TCF) 200点以上 <ul style="list-style-type: none"> ・仮国民教育省認定仮語能力テスト インターネット (TCF SO) 200点以上 ・JICA 専門家定期テスト 150点以上
D	日常会話程度	<ul style="list-style-type: none"> ・仮検 3級、4級 ・仮語能力認定試験 (TEF) 69点以上 <ul style="list-style-type: none"> ・DELF A1

コミュニケーションレベル		西語
A	十分な コミュニケーションが 可能	<ul style="list-style-type: none"> ・西検 2級以上 ・ビジネス西検 2級以上 ・DELE 中級 (B2) 以上(2009年度以前の資格保持者) ・DELE 中級 (B2) 以上(2010年度以降の資格保持者) ・SIELE (B2) 以上 <ul style="list-style-type: none"> ・JICA 専門家定期テスト 200点以上 ・通訳案内業 (案内士) ◆ JICA 西語検定 2級以上 ◆協力隊シニア語学資格 A級
B	どんな状況でも適切な コミュニケーションが できる素地を備えている	<ul style="list-style-type: none"> ・西検 3級 ・ビジネス西検 3級 ・DELE 初級 (B1) (2009年度以前の資格保持者) <ul style="list-style-type: none"> ・DELE 中級 (B1) (2010年度以降の資格保持者) ・SIELE (B1) ・JICA 専門家定期テスト 180点以上
C	限られた範囲での業務上の コミュニケーションが可能	<ul style="list-style-type: none"> ・西検 4級 ・DELE 初級 (A2) (2010年度以降の資格保持者) <ul style="list-style-type: none"> ・SIELE (A2) ・JICA 専門家定期テスト 150点以上
D	日常会話程度	<ul style="list-style-type: none"> ・西検 5級 ・SIELE (A1) <ul style="list-style-type: none"> ・DELE 入門 (A1) (2010年度以降の資格保持者)

以下の資格・スコアは D レベル (日常会話程度) として認定可能です。

<一般案件およびシニア案件 (日系社会シニア海外協力隊) 対象 >

ポルトガル語

- ・CAPLE (ポルトガル) CIPLA (A2) 以上
- ・Celpe-Bras (ブラジル) Intermediário 以上

<一般案件のみ対象 >

ドイツ語	中国語
<ul style="list-style-type: none"> ・独検 4級以上 ・ゲーテ・インスティテュート・ドイツ語検定試験 A1 以上 ・オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 (OSD) A1 以上 ・TestDaF A1 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定 3級以上 ・中国政府公認中国語試験 HSK 3級以上 ・中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 380点以上
ロシア語	韓国語
・ロシア語能力検定 4級以上	・ハングル能力検定 4級以上
タイ語	インドネシア語
・実用タイ語検定試験 4級以上	・インドネシア語技能検定試験 D 級以上
イタリア語	
・実用イタリア語検定試験 4級以上	・PLIDA イタリア語検定 A1 以上

※虚偽の申請が判明した場合には、合格が取り消しとなることがあります。

10 健康に関する留意事項

JICAでは、日本とは大きく生活環境（気候・ライフライン・文化背景等）や医療事情が異なる開発途上国に、長期間生活の場が移るという特殊性を考慮し、JICA海外協力隊の選考に際し、健康審査を慎重に行なった上で、派遣の可否ならびに派遣国を判断します。持病のある方、治療中の傷病（歯科治療を含む）がある方、定期的に検査等を必要とされる方は、主治医とご相談いただき、完治した状態で応募されるようお願いいたします（本項目下段の疾患例を参考ください）。また、感染症からご自身の身を守り、さらに周囲への感染を防ぐため、派遣前の予防接種を強く勧奨しています（派遣国・地域によっては接種が必須となります）。このため合格後の派遣前訓練期間中に、訓練所において集団での予防接種を実施しますのでご承知おきください。応募時に提出する問診票

の記入にあたっては、アレルギー、怪我等、完治した傷病も含めて正確に申告してください。既往症をお持ちであるにも関わらず、申告がされなかった場合、または問診票の申告内容に虚偽があることが判明した場合、派遣期間の短縮または派遣自体を中止し、手当や旅費等の返還をしていただくことがあります。合格後に新たな疾患や既往症の再発が発覚した場合は、再度健康審査を行い、派遣の可否をあらためて判断します。派遣前訓練中もしくは現地への派遣後であっても、派遣延期または派遣取り消（派遣後の場合は任期短縮）となる場合があります。派遣中は海外旅行保険に加入し、医療費など保険請求を行えますが、既往の傷病については、医療費及び緊急移送サービスの経費は保険ではカバーされないため、多額の自己負担が生じる可能性があります。

①派遣不可となる疾患例

以下の疾患をお持ちの方（疾患によっては既往症も含む）は、JICA海外協力隊としての派遣は困難です。あらかじめご了承ください。

病名等	派遣不可理由
心疾患・脳血管疾患	異常の早期発見や適切な対処が困難で、開発途上国での管理が非常に困難なため。
悪性腫瘍（癌）	現在治療中あるいは手術後の経過観察中の場合は異常の早期発見や適切な対処が困難であるため。
精神科・心療内科疾患	治療中の場合、開発途上国で悪化する危険性が高いため。
糖尿病	インシュリン注射による治療中など（すでに症状が治まっている方も、インシュリン注射を使用している場合は同様）血糖コントロールが不良の方や、すでに合併症を併発している方は、開発途上国での管理は非常に困難なため。
肝機能障害・腎機能障害	著しい肝機能障害、腎機能障害がある場合、開発途上国での管理は非常に困難なため。
胃・十二指腸潰瘍	活動性の胃・十二指腸潰瘍を認める場合、開発途上国での管理が非常に困難なため。
その他	注射治療中（自己注射を含む）の方：主治医の指示のもと継続治療が必要な状態であることに加え、現地での医療器具および医薬品の確保・衛生的保管が困難なため。

②派遣不可となる可能性のある疾患例

以下の疾患をお持ちの方（既往症を含む）は、開発途上国での活動中に再発や症状の悪化がみられる場合があるため、健康審査の結果、派遣不可となる可能性があります。あらかじめ主治医とよくご相談の上ご応募ください。また、以下に限らずに、何らかの疾患（既往症を含む）をお持ちの場合、疾患の種類や状態によっては、途上国での環境や医療事情等を勘案して派遣が困難となる可能性がありますので、応募時には、必ず問診票に正確に申告してください。

病名等	リスク、留意点
精神科・心療内科疾患	既往歴のある方は環境の変化やストレスによって再発する可能性があります。文化や母国語が違う国での治療は、非常に困難です。
高血圧症	未治療やコントロール不良な高血圧症は合併症を併発する危険があります。
気管支喘息	現在治療中の方や最近発作を起こした方は、環境の変化やストレス等により発作を起こしやすくなります。

病名等	リスク、留意点
睡眠時無呼吸症候群	長期間放置すると不整脈や高血圧、心不全などが起こるリスクがあります。経鼻的持続陽圧呼吸療法（CPAP）の管理は、派遣国で専門医にかかりることや安定した電力供給が求められるため、途上国での管理は非常に困難となる場合が多いです。
結核性疾患	現在治療中あるいは治療直後の方は、経過観察が必要です。
痔	現在症状のある方や手術直後の方は、食生活の変化により容易に悪化する可能性があります。
貧血	派遣先にはマラリアをはじめ、貧血を悪化させる感染症が流行している地域があります。貧血傾向の方がこのような感染症に罹患すると非常に危険です。特に鉄欠乏性の貧血になりがちな女性は、日ごろから食事などで鉄分の摂取を心掛けることが重要です。
アトピー性皮膚炎	派遣先の気候や生活環境によっては皮膚の清潔が保ちにくくなり、症状を悪化させる可能性があります。日常的な保湿による再燃や悪化の予防と、状態に応じセルフケアができることが重要です。
整形外科疾患	派遣先の交通事情、生活環境等により症状が悪化する疾患があります。
婦人科疾患	月経不順をはじめ婦人科疾患で治療中、または治癒直後、手術直後の方は、一定期間の経過観察が必要です。また、月経不順や過多月経を治療せず放置した場合、症状が悪化することがあります。
アレルギー	日本にはないアレルギー要因物質と接触して、突然強いアレルギー症状が出ることがあります。アナフィラキシーの既往がある場合、日本と比べ医療事情が悪いため注意が必要です。
極度の肥満・やせ	肥満は、様々な生活習慣病を引き起こす健康の大敵です。また、極度のやせの方は抵抗力が弱いため病気にかかりやすいうえ、病気になった場合は、治療期間が長引く可能性があります（BMI一般的基準値：18.5 以上 25.0 未満）。
その他定期検査を要する疾患	1ヶ月毎、3ヶ月毎のように定期的な検査や診察が必要と判断される場合、病状により、派遣不可と判断される場合があります（歯科治療（虫歯、インプラント、矯正等）含む）。

③任地が高地（標高 2,000 メートル以上）の要請に応募される皆様へ

日本では、日常生活に支障がない、あるいは治療の必要がない疾患でも、高地での環境（低気圧・低酸素・極度の乾燥）により持病が悪化する可能性があります。特に循環器疾患・呼吸器疾患・生活習慣病（高血圧症・脂質異常症・糖尿病・高尿酸血症・肥満症等）が既往症としてある方や年齢の高い方は、高地の環境に適応しづらくなります。ご自身が応募される国の首都や任地が高地であるか確認の上、応募前に、ご自身の健康状態を把握し、主治医と十分相談して応募の可否についてご検討ください。

●標高 2,000 メートル以上の地域への派遣が想定される国

地 域	国 名
アジア地域	ブータン
アフリカ地域	エチオピア、ケニア
中南米地域	メキシコ、グアテマラ、コロンビア、エクアドル、ペルー、ボリビア

4

選考について

1 選考内容（一般案件／シニア案件）

※以下の選考過程を通じて、人物、技術、語学、健康の観点で総合的に審査を行います。

一次選考	書類審査	応募書類をもとに要請への適合性などを総合的に一次審査します。 (二次選考でも引き続き審査を行います。)
	語学力審査	語学力証明書をもとに審査します。 (二次選考でも引き続き審査を行います。)
	適性テスト	ウェブ版となります。受検は必須です。未受検の場合は、選考対象外となります。 詳細はJICA海外協力隊応募者用マイページにてお知らせします。
	技術審査 (シニア案件のみ)	提出された書類をもとに技術について審査します。
	健康審査	応募時に提出された「問診票」および「健康診断書」をもとに応募者の健康状態を審査します。 (二次選考でも引き続き審査を行います。) ※「問診票」および「健康診断書」の内容によっては追加指示(再検査等)が出る場合があります。
二次選考	会場	ウェブ面接
	人物審査・ 技術審査	JICA海外協力隊としての適性について、人物、技術の観点から面接を行います。職種によっては、面接の他に指定課題の提出(文章、図、作品の写真、動画等)を求めます。詳しくは、一次選考の合否通知の際にお知らせします。
	健康審査	応募時に提出された「問診票」および「健康診断書」、およびその後の追加指示(再検査、診断書取付け等)の結果を踏まえて応募者の健康状態を審査します。
最終選考	合否判定	一次選考と二次選考の結果を総合的に判断して合否を決定します。

※選考の結果、合格ラインをクリアしているものの、募集中の要請内容には適合しない等の理由であってはまる要請がない場合、「登録」について意思確認のご連絡をさしあげます。登録者は、合格者が辞退した場合などに繰上げ合格の対象となります。期間は1年間です。登録期間中、身分上の拘束関係はありません。

新型コロナウイルスの世界的な流行を受けて、派遣中の JICA 海外協力隊全員が日本に一時帰国しましたが、その後、国毎、案件（要請）毎に隊員活動が可能と確認されたところから、順次渡航を再開しています。

■新型コロナウイルスのワクチン接種について

JICA 海外協力隊には、新型コロナウイルスのワクチン接種を推奨します。

特に、厚生労働省が示す重症化リスクの高い方（65歳以上の高齢者、基礎疾患有する者等）には、ワクチン接種を受けたうえでの渡航を強く推奨します。

JICA 海外協力隊の派遣先となる開発途上国の新型コロナウイルス感染に対応する医療提供体制が、必ずしも日本と同等ではない可能性があることを予めご理解ください。

また、派遣先国・渡航経由地の入国に際し、ワクチン接種証明書やウイルス検査等の陰性証明書の提示を求められる場合は、各国の定めに沿った対応が必要となることを、あらかじめご了承ください。

■感染症予防対策について

政府方針等と最新の感染状況を踏まえて、適切に対応予定です。



6

合格から派遣まで

1 派遣前訓練参加前から派遣までの流れ

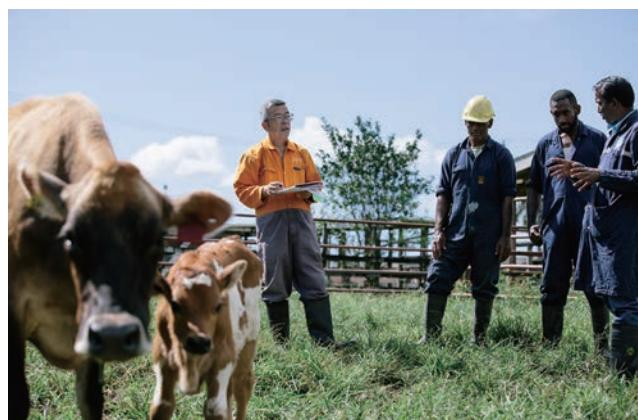
派遣前訓練まで	語学及び講座 事前学習	合格者全員に派遣前訓練に向けて、講座及び語学（一部対象者）の事前学習が指示されます。合格後、JICA 海外協力隊ウェブサイト（合格者の方）の案内を確認し、計画的に学習を進めるようしてください。これらの事前学習は、派遣前訓練開始前までに終了していただく必要があります。
	グローカル プログラム (任意参加)	合格者のうちグローカルプログラムへの参加を希望し、参加要件を満たす方には、派遣前訓練開始前に約3ヶ月間、日本国内の地域課題解決に取り組む実習機会が提供されます。
	資格取得 (対象者のみ)	応募する時点で要請に必要とされる資格条件を取得していないものの、派遣前訓練開始までに取得見込み、もしくは取得可能な場合に指示されます。指示された資格を取得することが派遣のための条件となります。
		合格後、再度健康診断を受診していただく場合があります。診断の結果、派遣が取り消しとなる場合がありますので日ごろから健康維持に努めることをおすすめします。また、受入国によつては、HIV や C 型肝炎抗体検査、梅毒等の感染症検査の結果の事前提出が求められる場合があります。 ※派遣前健康診断の時期や実施については予告なく変更されることがあります。合格後のご案内でご確認ください。
	派遣前 健康診断及び 特定国 健康診断	<p>■ 所定の検査項目の検診及び検査結果の提出が必要とされる国と項目 (カッコ内は検査の結果について所定の結果であることが求められます)</p> <ul style="list-style-type: none">● フィリピン HIV（陰性）を含む健康診断等医師の英文証明書が必要 …… 訓練所入所前に検査必要● エスワティニ 健康診断等英文で医師の証明書が必要 ……………… 訓練所入所前に検査必要● ジンバブエ 胸部レントゲン英文証明書が必要 ……………… 訓練所にて診療室医師が作成
		上記の国の要請に合格された方には、記載の必要項目を付加して受診していただきます。本検査を受診いただけない場合、また、受入国側に求められている結果と異なる検査結果であった場合は、受入国からの滞在許可が取得できません。その結果、派遣ができないため、やむなく合格を取り消さざるを得ないことを予めご了承ください。



派遣前訓練（長期派遣者向け訓練）	訓練所 入所案内	派遣前訓練についての詳細は、JICA 海外協力隊ウェブサイト（合格者の方）にてご確認いただけます。
	対象者	全員が対象です。 「語学訓練免除者向け訓練」の受講対象者は、下段 ② を参照してください。
	期間	73日程度
	場所	JICA 二本松青年海外協力隊訓練所（福島県）または JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所（長野県）のいずれかで実施します。
	時期（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2024年度 2次隊：2024年8月～ ■ 2024年度 3次隊：2025年1月～ ■ 2025年度 1次隊：2025年4月～ <p>※上記のうち、いずれかの全日程に参加していただきますので、現在勤務先がある方は、休暇等の措置を取る必要があります。 ※訓練の時期は変更になる場合があります。</p>
	訓練言語	派遣前訓練においては、派遣国での活動や生活上の必要性の観点から、JICA が指定する言語を学習します。
	その他	派遣前訓練は合宿形式で行われます。訓練所で提供される食事についてはご自身でアレルギー回避をしていただきますので、予めご了承ください。 訓練修了後、職種により課題別支援として数日間の追加訓練を行います。詳しくは合格後個別に案内します。
	受入国への派遣	
	派遣時期	JICA が受入国ごとに指定する日程・旅程で赴任していただきます。赴任日は派遣前訓練修了日から約1ヶ月～3ヶ月後となる予定です。

2 「語学訓練免除者向け訓練」について

合格者の中で一定の条件を満たしている方は、「語学訓練免除者向け訓練」を受けていただきます。語学訓練免除者向け訓練は、短期派遣者向け訓練と合同で行われる予定です。



7

留意事項

1 派遣中JICA海外協力隊の方の応募について

- 派遣中（長期）の方で二次選考までに当初任期を満了し、面接が可能な方は短期派遣に応募できます。
- 派遣中（短期）の方で二次選考までに当初任期を満了し、面接が可能な方は長期および短期派遣いずれも応募できます。なお、派遣前訓練は日本国内、また派遣は日本からとなります。

2 海外居住者の応募について

海外に生活の拠点がある方が応募される場合、二次選考の経費、派遣前訓練に係る旅費、派遣期間中の諸手当及び諸制度等の待遇が異なる場合があります。

3 ダイバーシティへの配慮

JICAは障害や性のあり方（性別、性自認、性的指向、性表現）等を理由に合否の判断を行いません。他方、派遣国の社会的・文化的状況や慣習等に鑑み、隊員の安全・健康を確保することが困難であると判断される場合には、派遣国や配属先を調整する場合があります。応募・選考・訓練・派遣のプロセス、及び派遣先での活動や生活に不安を感じられる方は、応募前にJICA海外協力隊募集事務局（TEL：045-410-8922、E-mail：contact@jocv.info）までご相談ください。

4 派遣取りやめについて

次の場合には、合格後または訓練修了後でも派遣を取りやめることができます。

- 受入国から査証等の取得や受入承認が得られない場合。
- 日本政府及び受入国政府との間の合意による派遣中止、受入国政府による受入拒否または受入国もしくは周辺国の非常事態（感染症の大規模な感染拡大等を含む）の発生により派遣が困難とJICAが判断する場合。
- 本人の健康上の問題が発見された場合で、派遣が困難とJICAが判断する場合。
- 応募者調書に虚偽の申告があった場合。
(なお、この場合、それまでに要した経費について返還を求める場合があります。)
- 何等かの理由により訓練を修了できなかつた場合。
- 「赴任に関する同意書」「派遣前訓練に関する合意書」「JICA海外協力隊の派遣に関する合意書」等に記載されているJICAとの合意事項に反する行為があつた場合。

※派遣前訓練入所に必要な手続きや、辞退に係る手続きが期日までになされない場合は、合格取り消しとなります。また「辞退届」を事前に提出することなく派遣前訓練初日に出席されない場合等には、合格取り消しとなり訓練受け入れ準備及び派遣準備にかかった経費等を請求する場合があります。

5 雇用保険等の受給期間の延長

雇用保険加入者が退職して参加する場合、離職後に雇用保険の受給期間の延長手続きを行うことにより、帰国後に雇用保険の受給が可能になります。該当する方は手続きを行うことをお勧めします。ただし、離職のタイミングまたは手続きの誤り等により給付制限期間（3ヶ月間）が加えられる場合もありますので、注意が必要です。特に離職日（退職日）が派遣前訓練開始日から1ヶ月以上前に設定されていると、退職理由が「青年海外協力隊など公的機関が行う海外技術指導による海外派遣」と認められないケースがあるので、離職日の設定については特にご注意ください。ハローワークで行っている「教育訓練給付制度」についても適用対象期間を延長することができます。雇用保険の手続きは隊員ご自身が行うことになっております。詳しくは最寄りのハローワークにお問い合わせください。

6 個人情報の取り扱い

応募の際に提出していただく個人情報は、原則として以下の目的のために利用し、JICA 内及び関係機関に提供することができます。

- JICA 海外協力隊としての選考・派遣前訓練・派遣及び活動支援にかかる諸手続き
- 事業実績の取りまとめ等、統計データの作成
- 帰国後支援及び JICA ボランティア事業の促進（国際協力に関する理解促進等のため、隊員の氏名及び出身都道府県市区町村並びに受入国、任地、配属機関、派遣職種及び派遣期間については JICA が情報を公開することを許諾いただくことになります。）
- 派遣前訓練終了後の自治体表敬訪問（JICA ボランティア事業の理解促進のため、広報に協力していただくことになります。）
- JICA ボランティア事業に関わる情報発信や事業改善に資するアンケート

7 予防接種の同意について

JICA は、JICA 海外協力隊の派遣期間中の安全と健康のため、ご本人の同意の上、必要な予防接種を受けた方を派遣しています。

8 その他

- 日本国以外の国籍もお持ちの方、または有効な査証等本邦以外の滞在資格をお持ちの方は、派遣できる国が制限される可能性があります。
- 裁判が係属中の方、破産手続き中の方は、海外への渡航を制限され、派遣が取り消される可能性があります。
- 新型コロナウイルス感染症の状況次第では、様々な制約がある派遣となる可能性があります。

9 選考事務局から応募者の皆様へのご連絡について

応募後、電話またはメールで連絡することがあります。JICA 海外協力隊選考事務局（03-6632-9465）から電話があった場合は、折り返しご連絡ください。応募時に入力したメールアドレスは、info@jica-saiyo.com からのメール受信ができる設定にしておいてください。



JICA 海外協力隊には9つの分野、180以上の職種があります。

計画・行政 国・地域づくりに 関わるシゴト コミュニティ開発 行政事業マネジメント 交通安全 防災・災害対策 金融 環境行政 統計 コンピュータ技術	公共・公益事業 生活・サービスに 関わるシゴト 水質検査 上下水道 廃棄物処理 道路 鉄道 海運・航海 港湾 航空 空港 地震 気象 土木 河川・砂防 水資源開発 都市計画 造園 建築 建築設備 測量 映像 電気通信 通信インフラ 放送技術・設備 音響 照明 番組制作	農林水産 食べ物や自然に 関わるシゴト 食用作物・稲作栽培 花き栽培 野菜栽培 果樹栽培 バイオテクノロジー きのこ栽培 病虫害対策 土壤肥料 農業協同組合 農林統計 コーヒー 農業土木 農業機械 農産物加工 家畜飼育・飼料作物 養蜂 獣医・衛生 畜産・乳製品加工 林業・森林保全 林産加工 水産開発 養殖 水産物加工	鉱工業 ものづくりに 関わるシゴト 鉱業 化学・応用化学 金属加工 溶接 非破壊検査 動力発電技術 工作機械 冷凍機器・空調 精密機器 電気・電子機器・設備 建設機械 船舶機関 自動車整備 織維 竹工芸 木工 食品加工 陶磁器 皮革工芸 貴金属装身具製作 包装
商業・観光 マーケティングや観光に 関わるシゴト 輸出振興 経営管理 品質管理・生産性向上 マーケティング 観光			
社会福祉 福祉に 関わるシゴト ソーシャルワーカー 障害児・者支援 福祉用具 高齢者介護 労働安全衛生			
エネルギー エネルギーに 関わるシゴト ガス・石油・石炭 再生可能・省エネルギー 電力			

人的資源	PC インストラクター	手工芸	保健・医療
教育やスポーツなどを育てるシゴト	視聴覚教育	料理	いのちに寄り添うシゴト
青少年活動	音楽	服飾	医師
環境教育	美術	文化	歯科医師
就職支援	珠算		歯科衛生士
フィジカルアクティビティ	教育行政・学校運営		歯科技工士
陸上競技	日本語教育		看護師
体操競技	理科教育		保健師
新体操	数学教育		助産師
水泳	技術科教育		臨床検査技師
アーティスティックスイミング	体育		診療放射線技師
水球	小学校教育		薬剤師
テニス	幼児教育		鍼灸マッサージ師
卓球	機械工学		言語聴覚士
バドミントン	電子工学		作業療法士
バレーボール	衛生工学		理学療法士
バスケットボール	経済学		医療機器
ソフトボール	社会学・文化人類学		病院運営管理
野球	ジャーナリズム		栄養士
ハンドボール	科学		公衆衛生
サッカー	考古学		感染症・エイズ対策
レスリング	地質学		食品衛生
フェンシング	生態調査		学校保健
アーチェリー	植物学		柔道整復師
柔道	動物学		
空手道	司書		
少林寺拳法	学芸員		
合気道	デザイン		
剣道	文化財保護		
相撲	写真		
ウェイトリフティング	美容師		
自転車競技	編集		
ラグビー	家政・生活改善		

*職種・要請は追加・変更・取り消しする場合がありますので
最新情報は JICA 海外協力隊ウェブサイトでご確認ください。

1 自分の整理

JICA 海外協力隊は自分の持っている技術・経験を生かし、開発途上国の人々のために活動します。自分にあった職種選びのためには、“自分自身の棚卸”が有効です。

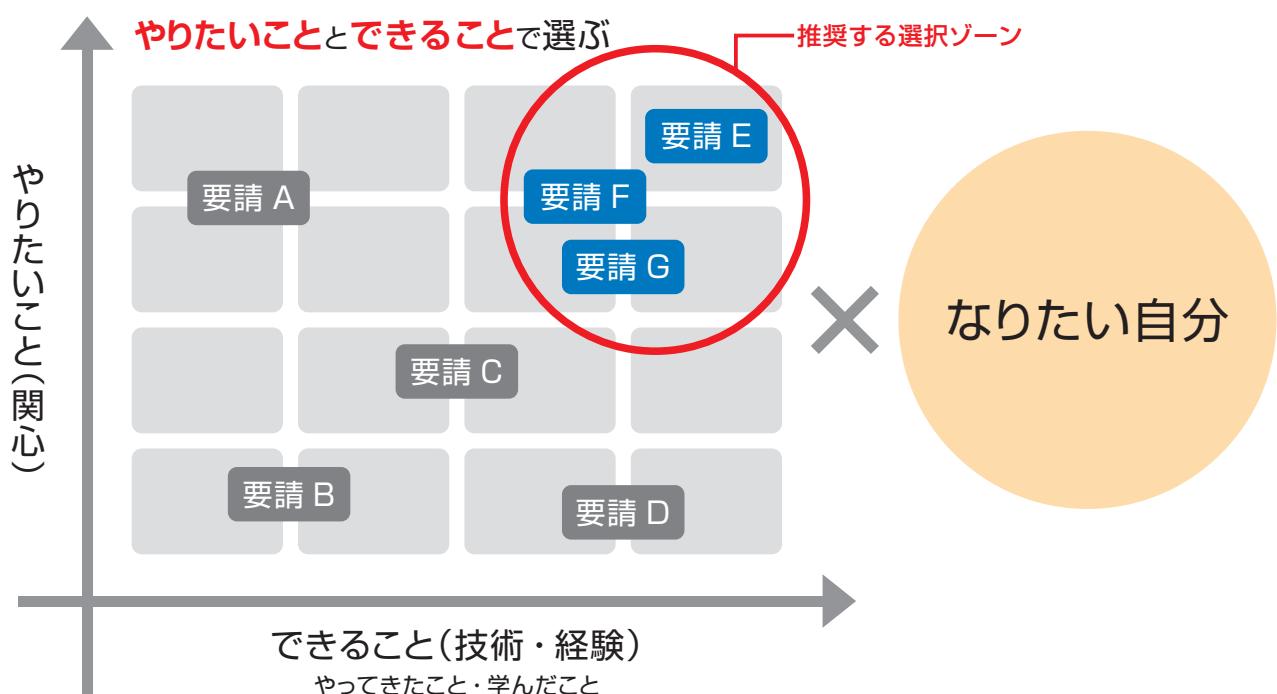
自分自身の棚卸とは、自分自身を客観視して振り返り、自分の持っている技術や経験を整理することです。どんな事を学び、どんな仕事をてきて、自分に何ができるのか、自分は何に関心があるのか、どんな資格を持っているのか、なぜ協力隊に応募するのか、「整理」をしてみましょう。



2 やりたいこととできることのマッチング

上記①で整理した自分のできることとやりたいことがマッチングし、そこになりたい自分が見えること。これが、職種を選ぶ最適なゾーンだと考えます。職種別の資格要件や活動概要は、JICA 海外協力隊ウェブサイト上で確認できます。

シゴトを知る



3 職種の選び方事例

■ 「協力花子」さんのケース

年齢	28歳
学歴	農学部卒業
部活動	小学校～大学までバスケットボール部
職業	食品メーカー勤務 営業→商品開発

■ 大学では農学部で農業科学を専攻

食品×環境分野×バイオテクノロジーの分野で…

●微生物を用いた環境にやさしい技術の開発 ●美味しい健康に良い食品の研究

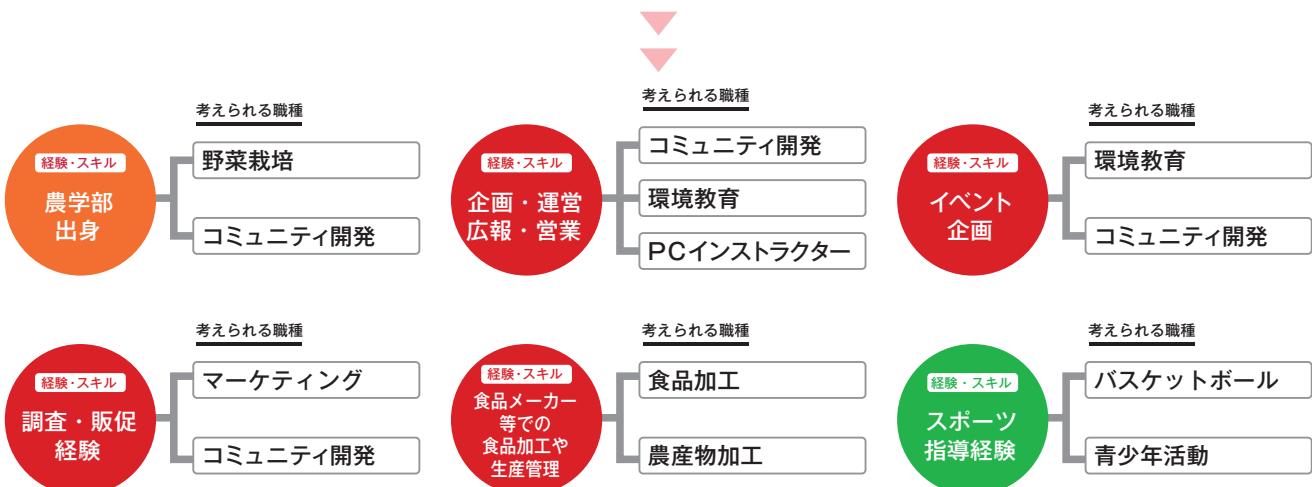
●植物生産や環境の資源である土壤の研究などを行う

■ 食品メーカーに就職

入社3年目までは営業部門に配属。店舗の販促企画やイベント企画、売り場のPOPづくりのアドバイスに積極的に取り組む。4年目からは商品開発部門に配属され、新規商品開発を担当。プロジェクトのリーダー等を務める。

■ 特技はバスケットボール

特技は小学校5年から始めてバスケットボール。大学ではバスケットサークルに所属。大学1年時から現在まで、月1～2回ボランティアで地元の小学校的バスケットボールチームのコーチをしている。



■ 「国際太郎」さんのケース

年齢	56歳
学歴	教育学部卒業
部活動	小学校～大学まで野球部
職業	民間企業(機械メーカー)：10年 高等学校英語教師：23年

■ 機械メーカーでの営業経験

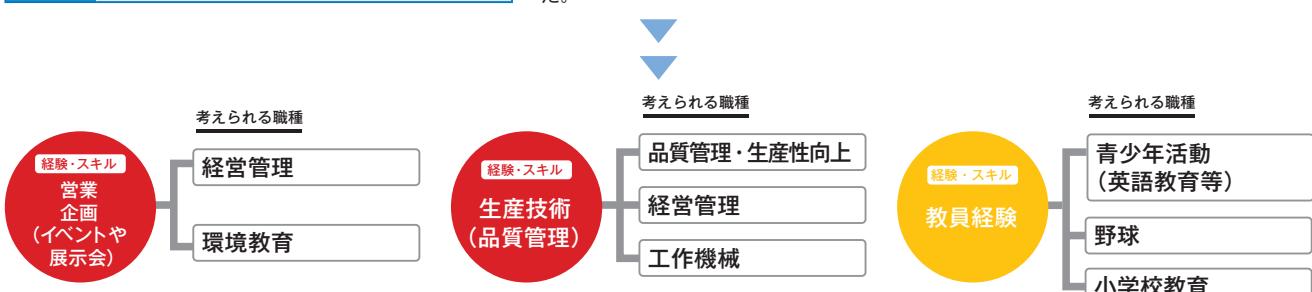
大学卒業後、機械メーカーに就職。入社後、営業本部に配属され、法人営業を担当。ビジネスショーや見本市担当となり、展示企画、イベント企画を中心に担当。

■ 生産技術部での経験

3年目からは生産技術部に配属され、海外へ赴任。海外の工場において、自社製品の品質を保ちながら、無駄のない生産を行うため、適切な人員配置や設備の管理を行った。

■ 教員への転職

生産技術部で8年間培った英語力・海外経験を活かし、高等学校の英語教師に転職。小学校から大学卒業まで野球部に所属していた経験から、野球部の顧問として部活動にも携わった。



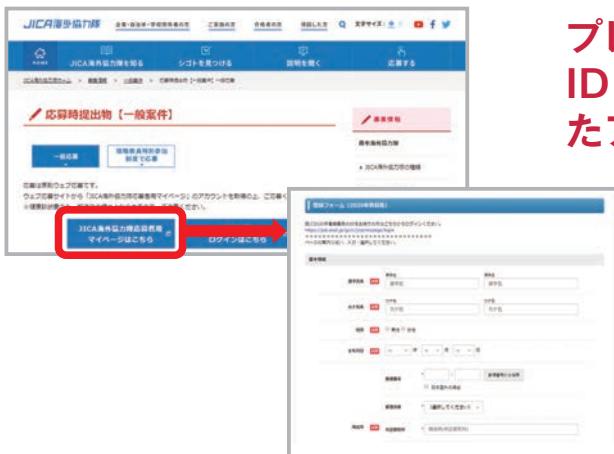
マイページとはプレエントリー（基本情報登録）を完了された方に発行する応募者専用のページです。

マイページでできること

- JICA 海外協力隊 2023 年秋募集に関するお知らせ（募集情報や要請情報等）を受け取ることが可能です。
- お知らせは、マイページのレターボックスで管理できますので、必要な情報にすぐにアクセスできます。
- 応募職種や希望要請、希望国などを登録することで本応募が可能です。
- 選考に必要な書類の提出や選考結果の通知もマイページを通じてご連絡しますので、プレエントリー後は、マイページを定期的にチェックしてください。

1 | JICA 海外協力隊ウェブサイトから プレエントリー（基本情報登録）を行ってください。

■ JICA 海外協力隊 プレエントリー画面

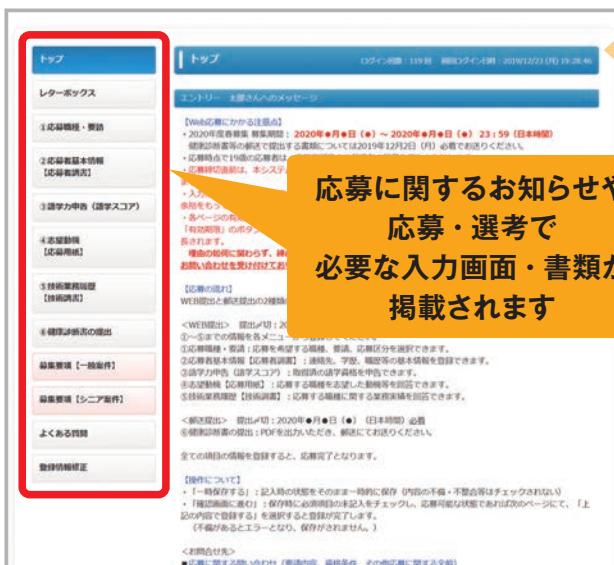


プレエントリーを完了すると、マイページの ID が発行され、プレエントリー時に登録したアドレスにメールが届きます。

2 | プレエントリー完了時に発行された ID とパスワードを入力し、マイページにログインしてください。

■ JICA 海外協力隊応募者用マイページ トップ画面

イメージ画像



■ JICA 海外協力隊応募者用マイページ ログイン画面



スマホからもログインが可能



11

JICA海外協力隊（短期派遣）について

「長期派遣」が1~2年間の派遣であるのに対し、1ヶ月~1年未満の期間での派遣を「短期派遣」としています。2023年秋募集（長期派遣）の募集期間終了後、2023年度短期派遣第2回の募集（派遣時期：2024年7月以降）を予定しています。それぞれの派遣予定時期の関係から、2023年秋募集（長期派遣）との併願はできませんのでご留意ください。詳細はJICA海外協力隊ウェブサイトでご確認ください。

12

JICA海外協力隊グローカルプログラム（派遣前型）参加者募集について

JICAボランティア事業では、隊員の帰国後の社会還元も事業の目的の一つとして取り組みを進めています。その一環として、将来的に日本国内の地域課題解決にも取り組む意思を有する協力隊合格者に対して、日本国内の地方創生や地域活性化、多文化共生の取り組みの現場における実習機会を提供する制度「JICA海外協力隊グローカルプログラム」を実施しています。

日本国内の課題を理解し、解決に向けた実践経験を積むことは、帰国後の活躍のみならず、隊員として途上国で活動する上でも意義のある実習となります。本プログラムは、協力隊合格者のうち現職参加者以外の方に対して、派遣前訓練開始までの期間を使って約2ヶ月半の実施を予定しています。参加希望の有無については、JICA海外協力隊の応募時及び合格隊次の意向調査時に確認をいたします。但し、今回の募集にて合格される2024年度2次隊合格者については、合格から派遣前訓練までの期間が短いためグローカルプログラムへの参加はできないことをご了承ください。

詳細はHP（以下URL）をご参照ください。▶

https://www.jica.go.jp/volunteer/glocal_program/index.html



13

現職参加について

現職参加とは、現在お勤めの方が、休職などの形で所属先に身分を残したままJICA海外協力隊に参加することを指します。具体的には、公務員の場合は法律や条令、民間企業等の休職制度などに基づくものを指します。

JICAでは、企業や官庁など関係各方面に対して、現職参加へのご協力のお願いをしており、所属先による雇用継続を支援するため所属先に支給する「現職参加促進費」を導入する等、より現職参加しやすくするための制度を設けています。また、派遣期間と訓練期間等の合計で2年間とすることのできる「派遣期間選択制度」も設けています。

尚、現職参加を希望する場合はご所属先（※所属部署だけではなく、企業の人事担当部門、都道府県・政令市教育委員会等）の承認が必要となりますので、ご注意ください。

現職参加促進費

現職参加促進費は所属先が現職参加者を継続して雇用することを促進するための経費として所属先に支払われ、使途も所属先が決定します。隊員本人に支給されるものではありませんので、ご注意下さい。

派遣期間選択制度

長期派遣のJICA海外協力隊の派遣期間は通常2年間（協力隊参加期間は訓練期間等と合わせて約2年3ヶ月）のところ、所属先の要望や承諾がある場合は、参加期間が派遣期間と訓練期間の合計で2年間になるように、選択できる制度です。例えば4月開始の訓練に参加した場合、2年後の3月のタイミングで帰国し、4月から復職できることとなります。

※現職教員特別参加制度と教員の方の現職参加について

現職教員特別参加制度は所定の募集・応募プロセスを経て合格した方が対象となります。一般公募で応募した現職の教員の方に自動的に適用されるものではありませんので、ご注意ください。詳しくはご所属の教育委員会にご相談ください。

※現職参加をお考えの方は必ず以下の「よくある質問」をご確認ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/faq/index.html>



14

要請の見方について

JICA 海外協力隊ウェブサイトに掲載されている要請情報概要の見方については、以下のガイドをご参照ください。要請・職種情報のウェブサイトにて、一覧表右端の「要望調査票」欄にある「詳細」ボタンをクリックすると、それぞれについて、配属先が希望する要請の詳細情報を確認することができます。

1 要請番号：要請に付与される番号です。

2 国名：隊員が派遣される国名です。

3 職種コード：職種に付与されるコードです。

職種：派遣される職種名です。

4 年齢制限

表示なし：20～69歳まで応募可能な案件です。

20～45歳のみ：任地の生活環境や医療事情、配属先の状況などを勘案して派遣に年齢制限を設けている案件です。

5 活動形態

G：グループ型派遣の要請です。共通の目標の下、相互につながりを持つ複数の隊員（職種・任地・派遣時期は異なる場合もあります）を派遣するもので、特に協調性やチームワークが求められます。

N：配属先が NGO の要請です。公務員の現職参加の場合、NGOへの派遣は、ほぼ認められないのが実状です。NGOへの派遣が可能か、事前に所属先へご確認ください。

日系：日系社会青年海外協力隊、日系社会海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊の要請です。公務員の現職参加の場合、該当の要請に派遣が可能か、事前に所属先へご確認ください。

6 区分（新規交替）：「新規」とは、当該配属先に初めて隊員が派遣される要請、「交替」とは、これまでに同じ配属先に職種に関わらず前任者がいたことのある要請です。

7 派遣期間：1～2年間

8 派遣隊次：配属先が受入れを希望する隊次を表記しています。

隊次	派遣前訓練時期（予定）	派遣時期（予定）
2024年度2次隊	2024年8月～	訓練修了時点から1ヶ月～3ヶ月後となる予定です。
2024年度3次隊	2025年1月～	
2025年度1次隊	2025年4月～	

※訓練の時期は変更になることがあります。

9 配属機関名：隊員が現地で所属する機関・団体の名前です。

10 配属機関概要・要請概要：配属先の状況や隊員の活動内容についての概要です。

11 活動使用言語：現地のカウンターパート（技術協力の対象となる、受入国の行政官や技術者、配属先の同僚等を指します）等との間で業務上使用する言語です。

12 生活使用言語：現地の日常生活で使用する言語です。

13 選考指定言語：「語学力目安表」に記載されている該当言語資格（記載のレベル以上）が必要です。JICA 海外協力隊の応募に際しては、最低でも「D レベル」（英語以外の言語含む）以上が必要です。「言語問わず D」は「語学力目安表」に記載されているすべての言語のレベル D 以上を対象とします。

14

資格条件

性別：ほとんどの要請では「不問」ですが、受入国または配属先の都合上、限定されることがあります。

学歴：該当する要請について配属先が求める隊員の学歴です。

経験：配属先が求める経験と、その年数の目安です。経験の種類については下段の経験の種類を参照ください。

経験の種類：実務経験／当該職種を職業として選択し勤務した経験です。医療系職種での臨床経験はここに区分されます。アルバイトの経験は含みません。ただし、日本語教育の場合は、雇用形態（有給、無給）は問わず、日本語教師としての経験（学習者への直接指導、日本語教師に対する指導）を指します。

教員経験／教員とは、教育職免許法で定められている「教育職員」を指します。「教員経験」とは教育職員としての経験を指します。

指導経験／当該職種に関する下級者または未経験者への指導経験です。教師、教諭職種でのアルバイト（塾講師含む）などによる教授経験はここに区分されます。雇用形態（有給、無給）は問いません。スポーツ職種については、競技の普及や選手の育成を目的に当該競技に関連する技術や知識を指導者として教えた経験を指します。

競技経験／当該競技を選手としてプレーした経験を指します。

※日本語教育の資格条件について

「日本語教育に関する資格」とは、一般的に以下の3つのうちいずれかを満たしていることを指します。

① 420 時間程度の日本語教師養成講座（通信講座を含む）の修了 ②大学または大学院の日本語教育主専攻・副専攻などの修了 ③日本語教育能力検定試験合格

資格・免許：合否判断の基準となる資格・免許です。すでに取得済み、若しくは取得見込みの資格や免許が対象となります。

※応募の際は、希望する職種に関する資格や免許は必ずご記入ください。

15

任地での乗物利用の必要性

※ 2023 年秋募集においては、単車または四輪自動車の利用を必要とする要請はありません。

15

JICA グローバル・アジェンダへの取り組み

JICA は、「JICA グローバル・アジェンダ」（課題別事業戦略・JGA）として、JICA の経験、強みを活かして SDGs への貢献を目指した 20 の事業戦略を策定しています。当戦略のうち、JICA ボランティア事業と親和性が高い JGA においては、JICA ボランティア事業も含めた多様な力を結集した上で、開発途上国の課題解決を目指しています。具体的には、希望する隊員に対して、JICA が事業を通じて得た知見やネットワークを提供しますので、隊員はこれらの支援を受けながら、活動を行うことが可能となります。また、海外での活動終了後は希望に応じて各 JGA に継続的に関与することも可能となります。

JGA に関する詳細は HP (以下 URL) をご参照ください。

https://www.jica.go.jp/Resource/publication/pamph/issues/jri5e90000006dee-att/global_agenda.pdf



MEMO

MEMO

人生なんて きっかけひとつ。

独立行政法人 国際協力機構



応募に関するお問い合わせ

JICA海外協力隊 募集事務局

✉ contact@jocv.info

☎ 045-410-8922

お電話でのお問い合わせ時間

10:00~12:00 / 13:00~19:00

(土日祝日を除く)

さらに詳しい情報はWEBサイトへ



▲ JICA海外協力隊WEBサイト

JICA海外協力隊